



学校だより

令和6年1月31日
横浜市立茅ヶ崎東小学校
校長 宮本 仁志
都筑区茅ヶ崎東2-11-1
Tel 943-0802・0803

学校教育目標『笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来を創る東っ子』

正月の風景

副校長 山田 和仁

令和6（2024）年も1か月が過ぎましたが、本年もよろしくお願いいたします。お正月には、駅伝やサッカーやバレーボールなどテレビでも多くのスポーツが放映されており、一生懸命な選手の姿に胸が熱くなりました。今年はオリンピックイヤーでもあり、スポーツの魅力に心躍る1年となりそうです。

1月10、11日には体育館で書き初め大会が行われました。新年に際して自分の新たな目標をしっかりと筆に託すことができました。1年生はお正月、2年生は元気にあいさつ、3年生は友だち、4年生は明るい心、5年生は平和な国、そして6年生は自分で決めた四字熟語を書きました。教室前に掲示された書き初めを見ていくと、「堅忍果決（けんになかけつ）」という言葉が目にとまりました。「意思が堅固で忍耐強く決断力がありその志を変えない」、という意味ですが、これは幕末の思想家、吉田松陰の「士規七則」という教えの中に出てくる言葉です。士規七則を要約すると3つの点があり「志を立てて万事の原点とし、友を選んで仁義の行を助け、読書によって聖人の訓を学ぶ。」と武士として生きる上での心得を教えています。時代は違えど今の社会でも通じる人生訓ですね。聖人の訓を学ぶとは松陰の意志を継いだ志士たちによって、明治の日本の礎（いしづえ）が築かれたことからわかります。

一方、目を覆いたくなるような悲惨な出来事もありました。元日には能登半島で大きな地震があり、連日ニュースで報道されていました。過去には、阪神淡路大震災や東日本大震災が冬の時期に起きていますが、リアルタイムで目の当たりにする状況を子どもたちも真剣に受け止め、授業でも取り上げられて学習していました。また、避難訓練では休み時間中の地震発生の想定で、自分の身を守る行動を考え実践していました。被害に遭われた地域の多くの方々の1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

1月27日には、おやじの会の「おかしあそびにチャレンジ」が行われました。ふだんあまりしないようなめんこやおはじきなどに挑戦し、楽しく遊んでいました。おやじの会やPTAの皆様、1年間たくさんの楽しいイベントをありがとうございました。

メジャーリーガーの大谷選手からプレゼントされたグローブが本校にも届きました。海の向こうで活躍している偉大なアスリートの心のこもった贈り物を、子どもたちも目にしたり触れたりして、あらためて自分の夢や目標について考え、そしてかなえてほしいと思います。

卒業・進級が目に見えるところまで迫ってきました。「友情は喜びを二倍にし、悲しみを半分にする」とはドイツの詩人シラーの言葉です。現実の社会の中で子どもたちは時にぶつかり、時に高めあい、たくさんのお話を吸収し乗り越えて着実に育っていきます。子どもたちの健やかな成長のために、皆様のご支援・ご協力をこれからもよろしくお願いいたします。